

学校通信



みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～

平成30年12月18日発行
 筑前町立三輪小学校
 所在地：筑前町新町400
 TEL：0946-22-2215
 文責：校長 東野 正美

みわっ子の素晴らしいがんばりが

14日（金）に、持久走大会を行いました。この日に向けて、どの学年も体育の時間や業間の時間を使って、一生懸命に練習に取り組む姿を見ることができました。

私は、開会式で2つのことを児童に呼びかけました。1つは、自己ベストを目指してほしいこと、もう1つは、仲間をしっかりと応援してほしいことです。もちろん、当日の調子や体調等で自己ベストがでないこともあります。しかし、この持久走大会やいろいろな取組を通して、以前の自分自身をライバルに、自分の記録を伸ばすことの大切さを学んでほしいと願っています。そこでの学びは、今後の子ども達の可能性を伸ばすことにつながると信じています。

また、当日は、たくさんのお家の方に朝早くから応援においでいただき、ありがとうございました。3年生の子が、「周りの人がたくさん応援してくれたので、頑張る気持ちが大きくなりました。」とつぶやいた一言も印象的でした。



みわっ子アスリートたちの懸命な走り

「子どもの様子」アンケートより～その2～

○自分で進んでいろいろな事にチャレンジしている姿を見て、親として嬉しく思っています。
 →私も嬉しいです。お子さんのやる気を支える、お家の方の暖かい眼差しがあると感じます。

○算数も国語も苦手ですが、担任の先生を始めたくさんの先生のご指導で、少しずつ理解できることが増えたようです。感謝しています。

→子ども達の「分かった」「できた」が、私たち教員の喜びです。三輪小では、算数を中心に可能な限り複数で指導できる体制をつくっていますが課題もあります。保護者の方からの言葉を胸に刻んで、今後も子ども達分かる授業を創っていきたいと思います。

○家庭では言葉遣いが悪い時は注意していません。学校にいるときはわからないので、気が付いたときは、注意をお願いします。

○時々、言葉遣いが気になります。

→言葉遣いについては、三輪小の大きな課題です。学校では、道徳や学級活動の時間を初め、日々の活動の中で「言葉」の大切さについて考えさせています。児童会でも、「あったか言葉」を使う取り組みを実施しています。「言葉」は人との関係をつなぐもの、しかし使い方を間違えると人との関係をきるものになります。学校と家庭で、「言葉」を大切にすることで子どもを育てていきましょう。

☆「みわ道」の子☆

心が温かくなりました。なんと、6年生が横断幕をさげて、下級生の持久走を応援してくれたのです。「がんばれ！」の声援、そしてこれに笑顔で応える下級生。「みわ道」の姿です☆



5年生のもちつきには、保護者の皆様をはじめおやじの会の皆様、地域の皆様に朝早くからご協力いただきました。本当にありがとうございました。さて、22日から冬休みに入ります。ぜひこの期間、家族の一員として子ども達に家のしごとを任せてほしいと思っています。始業式は1月8日です。事件や事故に気を付けて、楽しい冬休みをお過ごしください。